

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平成 2年 3月 9日

事業所名 縁

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	2Fのスペースの有効な活用。	引き続き、スペースを有効に活用する活動を分散する。
	2	職員の配置数は適切である		○		土曜日の昼食を配達にすることも視野に入れる。ワンフロアで活動する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		段差にクッションなどを入れ固定する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月個人で目標設定をし月末には振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意見は真摯に受け止めて職員全体で周知している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価を是非行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		施設内でも月1回設定し、行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		特性をしっかりと考慮し、職員全体で話し合っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後、ABCチェックリスト等を活用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ会議を継続している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		会議で積極的に意見交換している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		リスクもふまえた上で綿密に計画を立てている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況や特性に応じた作成を継続している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日案・注意事項等、支援前に必ず職員全員でミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間での情報の共有をしっかりと行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録についても内容を検討している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		子どもの発達に合わせ色々な人からの意見をとり入れている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		片寄ることが無い様に考慮している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平成 2年 3月 9日

事業所名 縁

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		参画するだけではなく、支援の改善に役立っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		迎えの際に情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			必要な子どもが利用を希望した場合は、状況により検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		モニタリング等を利用して情報を共有し、継続していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		モニタリングの際に気づいた点については提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修等を継続している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童館を訪問し、一緒に活動する場をつくっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		羽生市の事業へ積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、送迎時を活用し必要ならば電話で共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後、専門の研修へ参加し、必要な支援を行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・支援計画の作成と説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎の際を利用している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後、長期休みを利用して、座談会を開催する。又、活動を見学してもらう。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		しっかりと体制を整備し、丁寧な対応を心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回の便り、その他の連絡事項はその都度、発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		注意喚起の他、施錠管理している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平成 2年 3月 9日

事業所名 縁

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		倫理綱領・行動指針を意識づけている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、自由参観の日を設け、避難訓練の様子等を地域住民にみてもらう。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		施設内で貼りだし役割分担等で意識している。 保護者様へはお手紙を配布。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		必ず月1回想定を変えた訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会議で話し合い、全職員に周知をはかっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		保護者様への説明をしっかりと行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		今後そのような事例があったらしっかりと情報を周知。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		積極的に作成し、改善策をその都度話し合っている。	